



CYBER HPC SYMPOSIUM

2021

ONLINE

CYBERMEDIA CENTER OSAKA UNIVERSITY

大阪大学 サイバーメディアセンター

サイバーHPCシンポジウム

ONLINE

開催日 2021年3月16日(火)

タイムスケジュール

10:30-10:40	開会の挨拶 大阪大学 サイバーメディアセンター センター長・教授 下條 真司
10:40-11:30	基調講演1 「東北大AOBAの運用開始と将来展望」 東北大学 サイバーサイエンスセンター 副センター長・教授 滝沢 寛之
11:30-12:00	「新スーパーコンピュータSQUID稼働に向けて -産学連携・産学共創への期待-」 大阪大学 サイバーメディアセンター 応用情報システム研究部門 准教授 伊達 進
12:00-13:00	昼食休憩
13:00-13:50	基調講演2 「スーパーコンピュータ『不老』導入と産業利用の新展開」 名古屋大学 情報基盤センター 大規模計算支援環境研究部門 教授 片桐 孝洋
13:50-14:30	「ものづくりにおけるスーパーコンピュータの利活用事例」 スーパーコンピューティング技術産業応用協議会 企画委員長 / 川崎重工業株式会社 航空宇宙システムカンパニー 松岡 右典
14:30-14:40	休憩
14:40-16:20	パネルディスカッション 「スーパーコンピュータの産業利用と今後の産学共創のあり方」 《座長》 大阪大学 サイバーメディアセンター 応用情報システム研究部門 招へい教授 山下 晃弘 《パネリスト》 東北大学 サイバーサイエンスセンター スーパーコンピューティング研究部 客員教授 / 東京電機大学 工学部 情報通信工学科 教授 江川 隆輔 名古屋大学 情報基盤センター 大規模計算支援環境研究部門 准教授 大島 聡史 大阪大学 サイバーメディアセンター 応用情報システム研究部門 講師 木戸 善之 計算科学振興財団 (FOCUS) シニアコーディネータ / 研究部門長 / 人材開発グループ長 高原 浩志 スーパーコンピューティング技術産業応用協議会 企画委員長 / 川崎重工業株式会社 航空宇宙システムカンパニー 松岡 右典
16:20-16:30	閉会の挨拶 大阪大学 サイバーメディアセンター 副センター長・教授 降旗 大介

概要

今回のシンポジウムでは、2020年にスーパーコンピュータシステムを導入した大学計算機センター、および、スーパーコンピュータの産業利用・応用に取り組む機関から専門家をお迎えし、スーパーコンピュータシステムの目的、役割、利活用事例を踏まえながら、スーパーコンピューティングを活用した産学共創の今後の課題と将来を考えていきます。

本シンポジウムはオンライン会議ツール「Webex」を用いたオンライン配信形式で行います。ネットワークに接続可能な環境をご用意ください。

技術担当: Cyber HPC Symposium テクニカルチーム
cyberhpc-tech@cmc.osaka-u.ac.jp

講演者 プロフィール



東北大学 サイバーサイエンスセンター 副センター長・教授
滝沢 寛之

1999年東北大学大学院情報科学研究科情報基礎科学専攻博士課程後期3年の課程修了。博士(情報科学)。2017年より東北大学サイバーサイエンスセンター教授、2019年より同副センター長も兼任し、現在に至る。2020年10月に稼働した同センターのスーパーコンピュータ、AOBAの運用を主導している。広く高性能計算に関連する技術に興味を持ち、特に高性能計算のためのプログラミングや実行時環境の高度化に取り組んでいる。情報処理学会、電子情報通信学会、IEEE、ACM 各会員。



名古屋大学 情報基盤センター 大規模計算支援環境研究部門 教授
片桐 孝洋

2001年東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻博士課程修了。博士(理学)。同年日本学術振興会特別研究員-PD、科学技術振興事業団専任研究者を経て、2002年電気通信大学大学院情報システム学研究所助手。2007年東京大学情報基盤センター特任准教授、および准教授を経て、2016年名古屋大学情報基盤センター教授、現在に至る。高性能計算、並列数値計算、ソフトウェア自動チューニングの研究に従事。また、並列プログラミング教育に関しても興味を持っている。情報処理学会、IEEE、ACM、SIAM各会員。2021年からHPCIコンソーシアム理事。



スーパーコンピューティング技術産業応用協議会 企画委員長 /
川崎重工業株式会社 航空宇宙システムカンパニー
松岡 右典

1987年大阪府立大学工学部航空工学科卒業。同年川崎重工業株式会社入社。航空用ジェットエンジンおよび産業用ガスタービンの軸流コンプレッサーの研究開発に従事。数値流体解析(CFD)を利用した軸流コンプレッサーの空力解析、空力設計の高度化に取り組む。現在スーパーコンピューティング技術産業応用協議会企画委員長、日本航空宇宙学会、日本ガスタービン学会会員。

パネリスト プロフィール



東北大学 サイバーサイエンスセンター スーパーコンピューティング研究部 客員教授 /
東京電機大学 工学部 情報通信工学科 教授

江川 隆輔

2004年東北大学大学院情報科学研究科博士後期課程修了。博士(情報科学)。同年東北大学大学院情報科学研究科研究員・助手。2007年東北大学サイバーサイエンスセンター・スーパーコンピューティング研究部助教、2013年同准教授。大規模科学計算システムの運用・開発、コンピュータアーキテクチャ、高性能計算に関する研究に従事。2020年東京電機大学工学部情報通信工学科教授、東北大学サイバーサイエンスセンター客員教授、現在に至る。IEEE、電子情報通信学会、情報処理学会会員。



名古屋大学 情報基盤センター 大規模計算支援環境研究部門 准教授

大島 聡史

2009年電気通信大学大学院情報システム学研究科情報ネットワーク学専攻博士後期課程修了。博士(工学)。博士研究員を経て同年10月から東京大学情報基盤センター助教。九州大学情報基盤研究開発センター助教を経て、2019年7月より現職、名古屋大学情報基盤センター准教授。各大学にて高性能計算研究とあわせてスパコンの導入・運用を行う部門に所属し、様々なスパコンの導入や運用に関わる。主な研究対象は高性能計算、特に行列計算法の高性能な実装やアプリケーション適用、GPUコンピューティングなど。特にGPUを用いた高性能計算については世界に先駆けて実施してきており、現在も主要な研究対象のひとつである。



計算科学振興財団 (FOCUS) シニアコーディネータ / 研究部門長 / 人材開発グループ長

高原 浩志

名古屋大学大学院理学研究科博士後期課程修了。1987年NEC入社。HPCシステムのプロモーションや応用に関するグローバル事業、研究機関・企業向けサービス、政府系プロジェクト等の推進を歴任。2018年より公益財団法人計算科学振興財団にてスーパーコンピュータの産業利用促進活動や、主に企業向けHPC活用リテラシー / 応用、AI関連に亘る人材育成プログラムを推進。「富岳」クラウド的利用実証に関する共同研究プロジェクトにも参画中。米国ACM/IEEE SC2002会議にてGordon Bell Award受賞。日本計算工学会フェロー。



主催：大阪大学 サイバーメディアセンター
共催：スーパーコンピューティング技術産業応用協議会 (ICSCP)
協賛：学際大規模情報基盤共同利用・共同研究拠点 (JHPCN)